



●このサイズのスルメイカが釣れ始めると初夏到来を感じさせる

●平均すればトップ20杯前後の日が多い



▶アタリが分かるようになれば釣果ものびる



●取り込みは焦らず落ち着いて



●この時期は胴長20センチ前後が主体

●当日はほとんどの人がフランクコ仕掛けて狙っていた



撮影●鈴木良和

▼この日は長井〜城ヶ島沖を狙った

▼いい群れに当たれば多点で乗ってくる



▼仕掛けはブラツノ11〜14センチ、オモリは120号



三浦半島長井港出船 初夏の沖イカ代名詞 三浦半島のムギ・スルメ上昇中



初夏の沖イカといえばムギ・スルメ。三浦半島長井〜城ヶ島沖周辺では5月下旬ごろからいい日はトップ30〜40杯と模様が上昇している。

この季節のムギ・スルメ狙いはポイントの水深が100メートル前後と浅いのが特徴の一つで、サイズは小ぶりながらもズッシリとした手応えが楽しめる。盛夏に向けて釣り場の水深が深くなるとともにどんどんサイズアップしていくので、スルメ入門として今の時期から練習しておくのもいいだろう。(詳細は54ページ参照)

●タナは底付近だったり宙層だったりするので船長のアワフンスをよく聞いておこう



●ヒキナーのイカ釣り入門としてもおすすめ



●三浦半島長井港・はら丸 泊 幸一船長